

14. 受検票送付

受検票は、令和3年10月25日(月)に本財団から発送いたします。

- 注1 11月1日(月)を過ぎても届かない場合は、11月5日(金)までに本財団にご連絡ください。
試験終了後に問い合わせても、受検は欠席扱いとなりますのでご注意ください。
- 注2 受検票を受け取ったら、試験日時、試験会場及び受検番号を必ず確認し、大切に保管してください。
紛失した場合は、事前に本財団までご連絡ください。再発行してお送りします。
- 注3 受検票は、試験終了後も大切に保管してください。
- 注4 受検地等の変更の場合は、P28を参照して、最終ページの申請書により手続きをしてください。(受検地変更届は試験日の10日前(必着)までに、提出してください。)なお、受検地変更の受け入れには定員があります。受入定員に達した場合は、変更をお受けできませんので、ご了承ください。

15. 試験の日時・試験地・試験の内容

(1) 試験日 令和3年11月14日(日)

(2) 試験の時間割

| | |
|-----------|-------------|
| 入室時刻 | 14:00まで |
| 試験問題配付説明 | 14:00～14:15 |
| 第二次検定試験時間 | 14:15～16:15 |

- 注1 受検票等忘失者は会場受付にて再発行手続きをおこなってください。
13:30より受け付けます。
- 注2 遅刻は厳禁です。入室時刻までに自分の座席に着席してください。
- 注3 大規模災害等により試験を中止、または試験時間の繰り下げ等を行う場合があります。(情報は逐次ホームページでお知らせします。)

(3) 試験の内容

- ・ 施工技術検定規則に定める第二次検定の検定科目及び検定基準、これに対応する解答形式は次のとおりです。なお、法令等は令和3年1月1日に有効なものとしします。

| 受検種別 | 検定科目 | 検定基準 | 知識能力 | 解答形式 |
|------|---------|--|------|------------------|
| 建 築 | 施工管理法 | 1 主任技術者として、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識を有すること。 | 知識 | 四肢一択 (マークシート) |
| | | 2 主任技術者として、建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度、外観等を得るために必要な措置を適切に行うことができる应用能力を有すること。 | 能力 | 記述 |
| | | 3 主任技術者として、設計図書に基づいて、工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる应用能力を有すること。 | | |
| 軀 体 | 躯体施工管理法 | 1 建築一式工事のうち基礎及び躯体に係る工事の施工の管理を適確に行うために必要な概略の知識を有すること。 | 知識 | 四肢一択 (マークシート) |
| | | 2 基礎及び躯体に係る建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度等を得るために必要な措置を適切に行うことができる高度の应用能力を有すること。 | 能力 | 記述 |
| | | 3 建築一式工事のうち基礎及び躯体に係る工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法を正確に理解し、設計図書に基づいて、当該工事の工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる高度の应用能力を有すること。 | | |
| 仕上げ | 仕上施工管理法 | 1 建築一式工事のうち仕上げに係る工事の施工の管理を適確に行うために必要な概略の知識を有すること。 | 知識 | 四肢一択 (マークシート) |
| | | 2 仕上げに係る建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度、外観等を得るために必要な措置を適切に行うことができる高度の应用能力を有すること。 | 能力 | 記述 |
| | | 3 建築一式工事のうち仕上げに係る工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法を正確に理解し、設計図書に基づいて、当該工事の工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる高度の应用能力を有すること。 | | |

※試験問題の文中に使用される漢字には、ふりがなが付記されます。

(4) 試験地

札幌・青森・仙台・東京・新潟・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・沖縄

○会場確保の都合上、やむを得ず近隣都市等に試験会場を設定する場合がありますのでご了承ください。

○試験会場は、受検票でお知らせします。

【新型コロナウイルス感染症対策についてお願い】

試験は、政府・都道府県より示される指針を踏まえた対策を講じ実施いたしますが、皆様におかれましても、日常の健康管理、試験当日の検温・マスクの着用・手洗い等、感染防止にご協力ください。

また、今後、感染状況が悪化するような事態が生じた場合には、新たな対策のお願い、試験の延期・中止等が想定されます。試験に関する重要なお知らせは、随時、本財団ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

16. 受検の心得と注意

受検に必要なものをよく確認してください。

事前に交通機関、経路、所要時間等を確認し、遅刻しないように早めに試験会場にお出かけください。

試験会場及びその付近には駐車・駐輪できません。

(1) 試験当日の持ち物

《必須なもの》

- ① 受検票
- ② HBで黒の鉛筆またはシャープペンシル
- ③ 消しゴム

《任意なもの》

- ① 腕時計(机の上に置いてよい時計は、時計以外の機能の付いていない腕時計のみ)

※試験会場によっては、室内に時計が設置されていない場合や設置されている時計が不正確な場合等ありますので、各自腕時計を持参することをお勧めします。

- ② 弁当(日曜日のため、試験会場周辺のレストラン等は休業している場合があります。)

- ③ 眼鏡等

※補聴器や拡大鏡(眼鏡型ルーペは除く)等を使用する場合には、あらかじめ「受検時特別対応申請書」の提出が必要です。(P30『身障者等を対象とした受検に際しての特別措置について』を参照)

(2) 試験会場における注意

- ① 試験当日は入室時刻までに来場し、受検票の受検番号によって指定された席につき、受検票を机の上に置いてください。(受検票を忘失した方は、必ず受付で手続きをしてください。なお、手続きの際には、写真の貼付してある身分証明書(運転免許証等)を提示してください。)
- ② 試験室内では携帯電話・通信機能付腕時計等の電子機器・通信機器の使用を禁止します。時計代わりとして使用することも禁止です。電源を切っておいてください。
- ③ 試験中、机の上に置いてよいものは、受検票、筆記具、腕時計のみです。これ以外のもの(筆箱、飲み物など)は、机の上に置かないでください。飲食することも禁止です。
- ④ 試験会場内では、係員の指示に従ってください。
- ⑤ 試験開始後1時間以内及び試験終了前10分間は、退室できません。
- ⑥ 喫煙は、指定の場所以外では厳禁です。
- ⑦ 自動車・バイク等での来場はお断りします。(試験会場及びその付近には駐車・駐輪できません。)
駐車違反等の呼び出しで試験室を離れた場合は、再入室できません。
- ⑧ 試験問題・解答の書き写しは禁止します。また、不正行為を発見した場合は、厳正に対処します。
- ⑨ 不正行為を行った者及び係員の指示に従わない者に対しては、受検を中止し退場を命じます。
- ⑩ 問題用紙は、試験終了時まで在席した者に限り希望者は持ち帰ることができます。
- ⑪ 温度調整のきく服装でご来場ください。